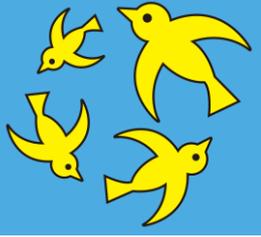


## 生きる力

学びの、その先へ



### 1人1台のタブレット端末を活用する新しい学びに取り組みます！

田上町教育委員会は、町内の小中学校に在籍するすべての児童生徒に1人1台の教育用タブレット端末を配備して、令和3年度から活用できるようにしました。このタブレット端末を活用して、どのような授業に改善できるのか、どう一人一人の主体的な学びを支援できるのかなど、田上っ子の資質・能力をより効果的に育成できる教育 ICT 環境を検討し、実現していきます。

教育用タブレット端末を学校だけでなく自宅などでも活用できるようにすることで、家庭と学校との新たなつながり方を創り出していきます。



#### 「児童生徒の学び」が変わります！



##### 1 一人一人の学びを充実させます

一人一人が自分課題や疑問を調べたり、自分に合った方法や進み具合で学習に取り組んだりすることが容易になります。キャリア形成に欠かせない、児童生徒の主体的な学びを支援します。

##### 2 対話的な学びを充実させます

タブレット端末やプロジェクター、大型モニターなどを活用して、児童生徒同士が互いの学びの成果などを容易に共有できます。相互に発表したり、意見交換したりする中で、お互いの考えを尊重し合い、高め合う学びを通して思考力、判断力、表現力などを育成していきます。

##### 3 探究的な学びを推進します

児童生徒が自分でインターネットなどを活用して、主体的に積み上げた学びから生まれた新たな課題や疑問、関心のあることを調べる学習も容易になります。自分で課題を探究する学習に取り組むことが期待できます。



#### 「学校の授業」が変わります！



##### 1 授業の理解のしやすさを推進します

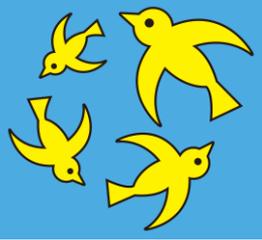
音声や動画などのデジタル教材の活用によって、児童生徒に授業が一層わかりやすくなります。例えば、理解しにくい図形の展開図も、図形を切り開く様子が一目で理解できるようになります。教師が写真やグラフ、表などを拡大表示したり、画面に書き込んだりして視覚的にすることで、児童生徒の学びへの興味関心、意欲が高まります。

##### 2 学習や生活への意欲を支援します

児童生徒が、観察・実験の写真、音読の録音、技能の動画などを自分で作成できます。タブレット端末のロイロノートなどを使うことで、自分の考えを整理・表現したり、友達との対話を通して思考を深め合ったりできます。学ぶ楽しさが増すことで、学習や生活への意欲を高めます。

# 生きる力

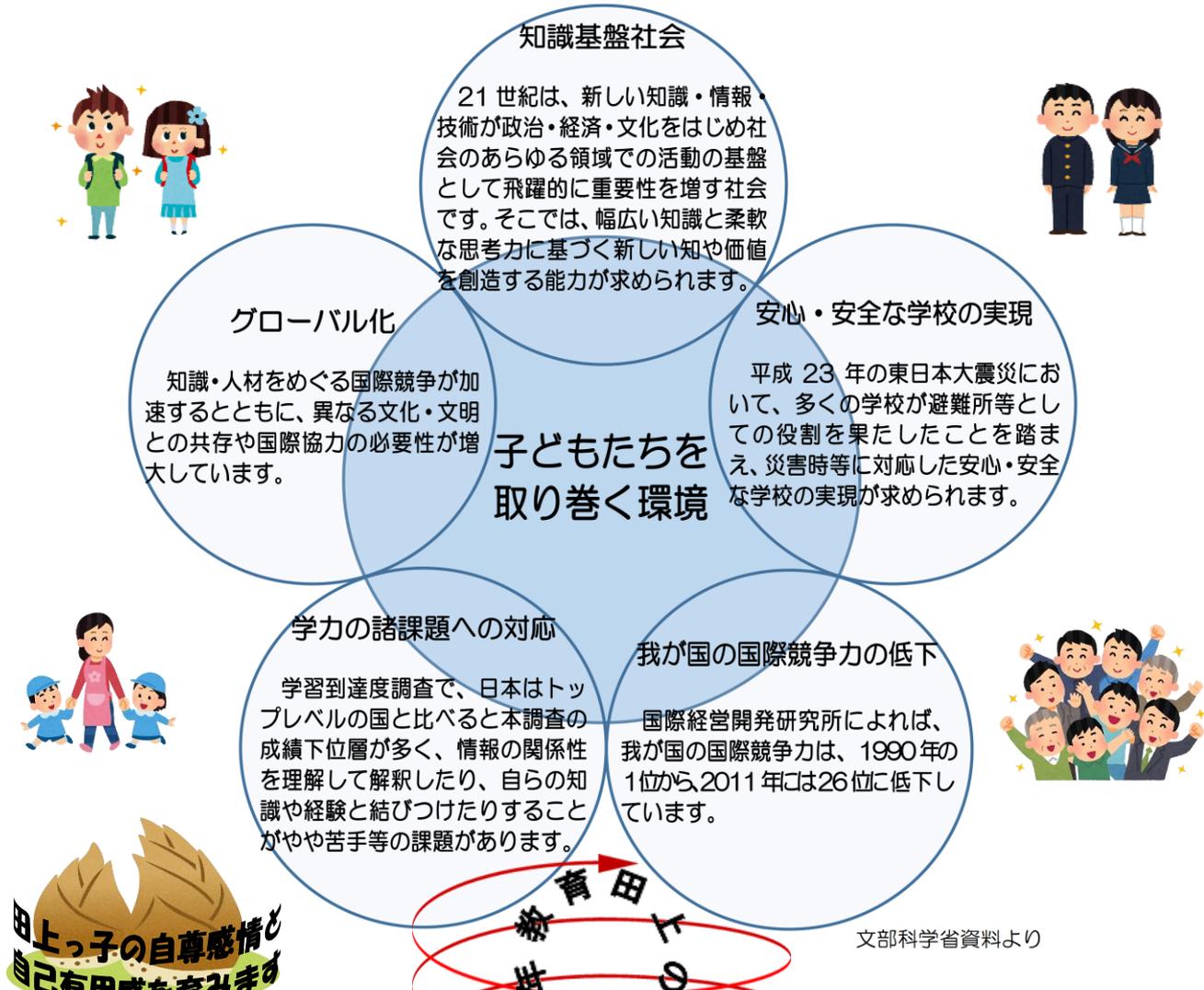
学びの、その先へ



## 21世紀を生きる子どもたちに求められる力と「田上の12か年教育」

子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中、21世紀を生きる子どもたちには、確かな学力、豊かな心、健やかな体といった「生きる力」を育むことが求められています。自分で考え自分で行動できること、他者と協力して助け合いながら「生きる力」を身に付けることが大切です。

一人一人の子どもたちの多様性を尊重しつつ、それぞれの強みを発揮させるその子に応じた教育を行うとともに、異なる背景や多様な能力をもつ子どもたちが協働して新たな価値を生み出す教育を推進します。



田上っ子の自尊感情と自己有用感を育みます

- 【自尊感情を育む】**
- 自分を価値あるものとする感覚
  - 自分自身を好きだという気持ち
  - 自分を大切に思える気持ち等



- 【自己有用感を育む】**
- 友達との関係の中で、自分を価値あるものとして受け止める感覚
  - 友達との関係の中で、自分は価値ある存在だという実感
  - 友達から自分の行動や存在が認められていると感じる状況
  - 友達に対して自分が役立つ行動をしていると感じる状況 等